

交通新世紀の実現迫る—自治体は交通まちづくりビジョンをどう描くか

自動運転と都市・交通政策—その展開戦略

～都市計画、交通政策、道路管理と地方創生、超高齢化対策等の自治体施策化～

- 新しい交通システム・サービスと自立共助型低炭素スマートコミュニティの共創
- コンパクト&ネットワーク社会と自動運転車の共生—新たなCo-designへ
- 自動運転の社会実験にみる都市活性化方策と法制度改正の展開方向
- 地方創生と自動運転車—地域の将来像とまちづくりの設計・実現方策
- 自動運転は都市・交通・高齢者等の問題をどう解決するか(予想される課題とは)

>>> 講師陣

太田 勝敏

氏/東京大学名誉教授
(一社)日本国際学生技術研修協会理事長
(公財)豊田都市交通研究所所長

岡田 豊

氏/みずほ総合研究所(株)主任研究員

土井 健司

氏/大阪大学大学院工学研究科教授

高田 邦道

氏/日本大学名誉教授
(一社)国土政策研究会副理事長
(公財)日本交通管理技術協会理事

今井 猛嘉

氏/法政大学大学院法科学研究科教授

>>> 日時・会場

2017年3月28日(火) 10:00~16:50

剛堂会館・会議室(東京・千代田区)

時	講 義 内 容	
10:00 }	自動運転時代の都市・交通政策～交通の新世紀への対応～ 1. はじめに—自動運転車AVと交通まちづくり 2. 自動運転関連技術の特性—電動化・自動化・情報化・シェアリング 3. 新たな交通システム・サービスの可能性 4. 持続可能な社会に向けた交通まちづくり—自立共助型低炭素スマートコミュニティの共創 5. 交通の新世紀—明日に向けて	東京大学名誉教授 (一社)日本国際学生技術研修協会理事長 (公財)豊田都市交通研究所所長 太田 勝敏 氏
11:10 }	コンパクト&ネットワーク社会と自動運転車～新しい交通社会に備える都市・交通計画～ 1. 交通の発展と都市の発展:コンパクト&ネットワーク社会 2. 超高齢化、超国際化による交通社会の変化 3. 鉄道会社を震撼させる自動運転車 4. 自動運転車と都市の共生～シェアリングエコノミー～ 5. 新たな交通社会のCo-designへ	大阪大学大学院工学研究科教授 土井 健司 氏
12:30 }	自動運転の社会実験と地方都市—地方活性化の手段として 1. はじめに 2. 警察庁ガイドラインに基づく自動運転車両の公道実験 3. 各地の取り組み 4. 特筆すべき状況と課題 5. 展望—今後の法改正にむけて	法政大学大学院法科学研究科教授 今井 猛嘉 氏
13:20 }	自動運転車とまちづくり～自治体は地域の将来像をどう設計するか～ 1. 公共交通機関のコスト削減だけではもったいない 2. 利用者視線でみた移動以外のメリットにも注目 3. コンパクトシティ政策の「教訓」を活かせるか 4. 地方創生にどう生かすか	みずほ総合研究所(株)主任研究員 岡田 豊 氏
14:40 }	自動運転時代の交通社会 ～市民生活から考える道路・交通管理のあり方と高齢者問題～ 1. スマートシティでの交通における自動運転車は? 2. ガラパゴス社会の日本での自動運転車は? 3. 自動運転車の保有と利用は? 4. 自動運転車時代の交通管理は、公?私? 5. 自動運転車は高齢者問題の何を解決できるか	日本大学名誉教授 (一社)国土政策研究会副理事長 (公財)日本交通管理技術協会理事 高田 邦道 氏
15:50 }		
16:50		

まちづくり資料シリーズ26

ITS:道路・交通・情報システムと そのアクションプログラム



監修：高田 邦道
(日本大学理工学部教授)

自動運転時代の 先駆け情報の資料集

■体裁：A4/226頁
■発行：1996年12月17日
■定価：10,276円(税・送料込)
(本体9,515円)
■研修会参加者特価：8,500円
(税・送料込)

- 第1章 ITSの実用化と車社会の展望
1. 道路・交通システム高度化の現状と今後の展開 高田 邦道
 2. 欧米のITS情勢と国内の取り組み トヨタ自動車 野口 好一
- 第2章 ITSの推進施策(関係省庁)
1. ITS推進のための警察庁の取り組みについて 警察庁 田中 好巳
 2. ITSと国際標準化 通産省 永井 裕司
 3. 先進安全自動車の開発推進計画 運輸省 三上 哲史
 4. カーマルチメディアの動向について 郵政省 高部 佳之
 5. 本格化するITS研究開発と実用化 建設省 川崎 茂信
- 第3章 システム・技術の最新情報とケーススタディ
1. VICS始動—その全貌 VICSセンター 宮田 穰
 2. 車社会情報化のフィールド実験 高知県 栗本 博樹
 3. ATIS:リアルタイム交通情報サービス ATIS交通情報サービス 岩崎 光仁
 4. 高速道路料金自動収受システムの実験 日本信号 三宮 肇
 5. ヤマト運輸の宅急便の情報技術 ヤマトシステム 玉川 雅浩
 6. バス交通に関するリアルタイム案内情報提供の現状と課題 中村 文彦
 7. タクシー車両運用の効率化とITS 松下通信工業 外山 和利

交通計画集成 巻1

交通需要マネジメントの方策と展開 ～ 都市政策と交通システムの連携 ～



監修：太田 勝敏
(東京大学工学部教授)

■体裁：A4/210頁
■発行：1996年10月
■定価：10,276円(税・送料込)
(本体9,515円)
■研修会参加者特価：8,500円
(税・送料込)

- 第1章 都市交通の新しい方向—交通需要マネジメント
1. 都市政策としての交通計画のあり方 岡 並木
 2. 交通需要マネジメント手法による都市交通の適正化 太田 勝敏
 3. 「ゆとり社会」の実現と都市交通適正化施策 茨城県・望月 明彦/建設省・武政 功
 4. 都心部におけるEビリティ確保の実現方策 山本 雄二郎
 5. 都市の成長管理と交通計画 東京大学 大西 隆
 6. 交通静穏化の考え方と実際 埼玉大学 久保田 尚
- 第2章 都市交通政策の新しい方向と課題
1. 交通需要マネジメントの官民パートナーシップ 東京大学 原田 昇
 2. 都市交通問題と交通警察 警察庁 小菅 孝嗣
 3. ITSと自動車交通適正化 京都大学 飯田 恭敬
 4. 阪神・淡路大震災における交通管理対策 警察庁 扇澤 昭宏
 5. 災害時の交通計画 城西国際大学 森田 稔

交通計画集成 巻9

観光地域の交通需要マネジメント ～ ビジター交通対策とまちづくり ～



監修：高田 邦道
(日本大学理工学部教授)

■体裁：A4/186頁
■発行：1997年12月
■定価：10,275円(税・送料込)
(本体9,514円)
■研修会参加者特価：8,500円
(税・送料込)

- 第1章 地域資源の保全・活用と交通計画
1. 保存と開発の調和～「城下町」の道路計画 日本大学 新谷 洋二
 2. 観光都市のTDM～街並み保全と交通計画 高田 邦道
 3. 国立公園における自動車利用の適正化 環境庁 黒瀬 英治
- 第2章 環境の保全と交通計画の試み
1. [上高地]観光と自然保護の両立方策 長野県安曇村 有馬 佳明
 2. [奥日光]自動車乗入規制と低公害バス 運輸省 吉田 耕一郎
 3. [倉敷]観光交通の分散誘導と駐車場の有効利用 岡山県警 多田 正人
 4. [金沢]観光ピーク時における交通需要管理 金沢工業大学 山口 健次
 5. [鎌倉]歴史的観光都市のTDMと市民参加 東京商船大学 高橋 洋二
 6. [板橋区]自治体の環境保全と低公害車の開発・普及と動向 浅井 浩
 7. [三春町]歩いて楽しめる地域づくりと交通体系の確立 吉田 功
- 第3章 観光都市インスブルック(オーストリア)の交通計画
警察庁・木戸 伴雄/高田 邦道/陸運電機・若林 勝司

交通計画集成 巻12

これからの都市と交通まちづくり ～ 21世紀の交通計画への提言 ～



監修：太田 勝敏
(東京大学工学部教授)

■体裁：A4/231頁
■発行：1998年3月
■定価：10,275円(税・送料込)
(本体9,514円)
■研修会参加者特価：8,500円
(税・送料込)

- 序章 [座談会:編集委員] 共生の時代の交通:これからの10年と自治体の役割
太田 勝敏/岡 並木/高田 邦道(司会)/山本 雄二郎
- 第1章 海外にみる都市と交通の考え方とその実際
1. 路面電車ルネッサンス 岡 並木
 2. アムステルダム都市政策と交通 高田 邦道
 3. シアトルとオタワの交通まちづくり 太田 勝敏
 4. [韓国]釜山広域市の緑色交通市民運動(GT) 吳 承勲/黄 仁喆
 5. [ブラジル]クリチバ市のバス輸送システム 中村 文彦
 6. 欧米にみるまちづくりと交通計画 日本経済新聞社 井田 均
- 第2章 国内の注目すべき試み～交通を軸としたまちづくりへの挑戦～
1. [武蔵野市]交通マスタープラン策定と実践 武蔵野市 山梨 榮
 2. [豊田市]公共交通を利用した交通手段の転換実験 伊豆原 浩二
 3. [札幌市]公共交通を軸としたまちづくり 札幌市 赤澤 義遵
 4. [名古屋市]基幹バス・ガイドウェイバス 名古屋市 杉野 尚夫
 5. ヒヤリ地図の方法と効用 千葉大学 鈴木 春男
- 第3章 「交通まちづくり」に求められる新しい課題と展望(編集協力8氏)

【研修会の参加要領】

- 日時：2017年3月28日(火) 10:00～16:50
■会場：剛堂会館・会議室
東京都千代田区紀尾井町3-27(案内図は申込後送付)
■申込方法：裏面下部の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
(FAX・郵送・メール等)。

※参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は代理の方のご出席またはメディア参加とさせていただきます。

■参加費(1名分)

	当日参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	28,000円
一般	35,000円	38,000円

■支払方法

請求後の振込(銀行振込・郵便振替・現金書留・当日払い)

みずほ銀行麹町支店 普通1159880
三井住友銀行麹町支店 普通7411658
三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767

郵便振替:00110-8-81660 口座名:剛地域科学研究会

お申し込み・お問い合わせ

あすの街と村を考える
地域科学研究会

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993
URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書 2017年 月 日】 希望欄に印を入れて下さい FAX: 03(3234)4993 MAIL: machi@chiikikagaku-k.co.jp

- 研修会の参加 『自動運転と都市・交通政策—その展開戦略』: 当日参加 メディア参加
- 出版物の購入 『ITS:道路・交通・情報システムとアクションプログラム』 _____ 冊 『交通需要マネジメントの方策と展開』 _____ 冊
 『観光地域の交通需要マネジメント』 _____ 冊 『これからの都市と交通まちづくり』 _____ 冊

勤務先 _____ 所在地 〒 _____ 連絡担当者 _____

TEL _____ FAX _____ E-mail _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____

〈通信欄〉○をつけてください

・支払方法(銀行振込・郵便振替・当日払い・現金書留)

・必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

(請求書宛名等)

※ご記入いただいた個人情報は当会の活動(セミナー・出版物等の申込受付,連絡,請求,案内等)のみに使用させていただきます。